

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会 毎年6月に開催します。
剰余金の配当の基準日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
定時株主総会の基準日 3月31日
 その他必要があるときは、予め公告して基準日を定めます。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
郵便物送付先 168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問い合わせ先 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)
受付時間は9:00~17:00 (土日祝日を除く)

特別口座に関する
事務取次所 みずほ証券株式会社本店および全国各支店
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
みずほ信託銀行株式会社本店および全国各支店

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。
なお、電子公告によることができない事故その他
やむを得ない事由が生じたときは、大阪市において
発行する産業経済新聞に掲載いたします。
(ホームページ) <http://www.kurimoto.co.jp>

単元株式数 100株
上場証券取引所 東京証券取引所
証券コード 5602

■ 100株未満の株式をお持ちの株主様へ

当社の単元株式数(売買単位)は、100株です。
一方、単元未満株式(1~99株)につきましては、証券市場で売却することはできませんが、当社に対して買取を請求して売却できる制度をご利用いただけます。お手続き等の詳細は、お取引の証券会社もしくは、上記のみずほ信託銀行までお問い合わせください。

■ 株式に関するお問い合わせ先

- 証券会社に株式をお預けの株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受け取り方法の変更等、株式に関する各種お手続きは、お取引の証券会社にお問い合わせください。
- 証券会社に株式を預けておられない株主様の場合、当社がみずほ信託銀行に開設しております「特別口座」にて株式を管理しています。特別口座の株式は、単元未満株式の買取請求を除き売買できませんので、証券会社に株主様名義の口座を開設し、株式を振替されることをお勧めいたします。お手続き等の詳細は、特別口座の口座管理機関である、上記のみずほ信託銀行へお問い合わせください。
- 未払配当金のみ、みずほ銀行全国本支店でもお取扱いいたします。

ホームページで最新情報を即座に発信

<http://www.kurimoto.co.jp>



KURIMOTO REPORT 2020

<http://www.kurimoto.co.jp/csr/>



株式会社 栗本鐵工所



KURIMOTO

第125期

中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日



コーポレートメッセージ

モノづくりで未来を創る、クリモト

クリモトは、1909年の創業以来、お客様満足第一のモノづくりに徹して、社会のインフラ整備、ライフラインや産業設備の拡充に貢献してきました。

これからも、110年で培った技術力にさらに磨きをかけ、独自の技術と製品・サービスで社会の生命線と人々の暮らしを守り、社会に貢献し続けたい。

そして、チャレンジ精神・創造力溢れるオンリーワン企業へ。

それが、クリモトの願いです。

企業理念

1. 私達は水と大気と生命(いのち)の惑星、地球を大切にし、人間社会のライフラインを守ります。
2. 私達は「安心」という価値を提供し、社会と顧客の信頼に応えます。
3. 私達は顧客の声をよく聴き、顧客から学び、独自の技術を深め、新しい技術を加え、顧客にオリジナルな「最適システム」を提案します。
4. 私達はモノづくりを通して、社員の幸せと人間社会の幸せを目指します。
5. 私達はこれらの実践のため、コンプライアンス経営を徹底し、継承と変革の調和を計り、個性と創意を尊重し、企業の発展と社会への貢献に努めます。

CONTENTS

3	トップコミットメント
5	事業の概況
6	事業部別営業品目の紹介
7	財務ハイライト
8	連結財務諸表
9	株式の状況
10	会社概要



ステークホルダーの皆様へ

社会環境の変化を
好機と捉え、
持続的成長を
目指してまいります。

株式会社栗本鐵工所 代表取締役社長

串田 守可

第125期中間期の概況を ご報告いたします

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループの事業運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は1909年2月に鋳物技術を活用した水道用鋳鉄管製造をもとに創業して以来、快適で安心して暮らせる社会の実現のため、100年あまりにわたって社会のインフラ整備、ライフラインや産業設備の拡充に取り組んでまいりました。当社グループをお引き立て、ご愛顧いただいておりますステークホルダーの皆様には厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの蔓延により経済活動が停滞し、日本国内においても、これまでの事業スタイルからのパラダイムシフトを余儀なくされる状況となっております。新型コロナウイルス感染症の拡がりが増え、既に半年以上が経過しますが、未だ沈静化の目処は立たず、各社とも生き残りをかけた新たなスタイルを模索する日々が続いております。

このような状況下ではありましたが、当中期3ヵ年経営計画の最終年度となる2020年度第2四半期の連結業績は、公表値と比較いたしますと、売上高、営業利益とも上振れの結果となり、前年度と比較しても増収増益となりました。あらためて、当社グループの事業が、エッセンシャルワークとして社会から認識されている現実を知り、より一層、矜持を持って事業に取り組む気持ちを強くいたしました。とは

言え、セグメントによっては市場環境や事業構造として非常に厳しい状況が継続しており、依然として予断を許さない状況が続いていることも事実です。

新型コロナウイルス感染症の拡がりに終息の兆しが見えない中ではありますが、当社グループでは、2021年度からスタートする次期中期3ヵ年経営計画を、現在策定しております。当中期3ヵ年経営計画は、「変えてはならないもの」すなわち1909年の創業以来、100年以上にわたって我々の先輩諸氏が築き上げてきた、お客様からの「信頼」を絶対に変えないために、「変えなければならぬもの」を毅然として変えていく、「事業の境界線」を越えていく3ヵ年と位置づけ、新たな取り組みを行ってまいりました。ここ数年で新たに当社グループの一員となった関係会社が収益に貢献し、『再生エネルギー関連』や『構造物メンテナンス関連』など、新たな事業収益の種が着実に育ちつつある一方、新型コロナウイルス蔓延による影響で新たな課題も見つかりました。

次期中期3ヵ年経営計画期間では、この社会環境の変化を当社が抱える課題を解決する好機と捉え、ニューノーマルへの適応により、企業の持続的成長と収益性の改善を目指してまいります。次期中期3ヵ年経営計画の詳細につきましては、来春、ステークホルダーの皆様へご披露させていただきます。ご予定でございます。

経営理念

私たちは、
全てのステークホルダーの
期待と信頼に応え、
常に最適なシステムを提供し、
『夢ある未来』を創造します。

配当について

なお、当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を最重要政策のひとつと位置付けており、安定的・継続的に配当を実施することを基本方針といたしております。

この度、当期の業績および経営環境等を総合的に判断いたしました結果、当期の中間配当につきましては一株あたり30円といたしました。

当社は2019年2月に、創立110周年を迎えました。長きにわたり、事業活動を継続できたことは、ひとえに、ステークホルダーの皆様のご指導ご鞭撻の賜物です。

株主の皆様におかれましては、これからもクリモトグループの活動に、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



パイプシステム事業 売上高 266億円

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、鉄管部門で出荷量が増加したことに加え、バルブ部門でも民需向けで出荷が堅調に推移したことなどで、前第2四半期連結累計期間比2,231百万円増収の26,629百万円となりました。

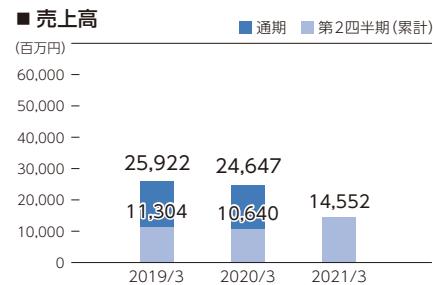
営業損益につきましては、鉄管部門、バルブ部門の増収に加え、原価改善に注力したことなどにより、前第2四半期連結累計期間比935百万円増益の1,426百万円の利益となりました。



機械システム事業 売上高 145億円

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門で大型物件の出荷増に加え、大型工事進行基準物件の進捗が進んだことなどにより、前第2四半期連結累計期間比3,911百万円増収の14,552百万円となりました。

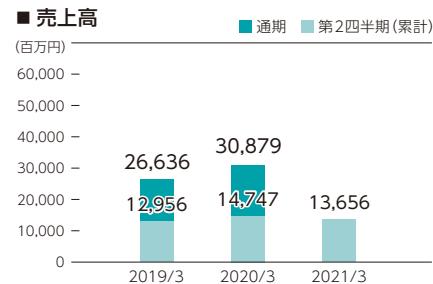
営業損益につきましては、増収により増益となりましたが、機械部門の一部プラント案件において追加工事が発生したことなどにより増益幅が縮小した結果、前第2四半期連結累計期間比24百万円増益の136百万円の利益となりました。



産業建設資材事業 売上高 136億円

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、化成部品で電力向け、鉄道向け製品の出荷が堅調に推移しましたが、建材部門で建築工事の減少もあり空調製品を中心に出荷が減少したことなどで、前第2四半期連結累計期間比1,090百万円減収の13,656百万円となりました。

営業損益につきましては、建材部門の減収の影響がありましたが、原価改善に努め減益幅を縮小した結果、前第2四半期連結累計期間比29百万円減益の396百万円の利益となりました。



パイプシステム事業



鉄管事業部

人々の暮らしを地下で支える水道管やガス管。身近な暮らしの場面から大きな役割を担うこれらのダクタイル鉄管は、大都市・郊外・農村などあらゆる所で活躍しております。

●営業品目

ダクタイル鉄管(直管、異形管、接合部品)、耐摩耗管、管路の設計、施工、施工監理業務および管路調査、点検等の維持管理業務



バルブ事業部

浄水場などの官需分野から、発電所・製鉄所・プラントなどの民需分野、海外向けのバルブを多数取り扱っております。

●営業品目

バタフライ弁、ソフトシール仕切弁、スリーブ弁、火力・水力発電設備用バルブ、貯水槽用緊急遮断弁、各種調整弁、高炉用弁類、スプリングラウ用予作動式(負圧湿式)流水検知装置

機械システム事業



機械システム事業部

さまざまな産業の生産ラインを支える産業機械設備は各種製品を世に送り出す一翼を担っています。また、単体設備からトータルエンジニアリングまで、幅広く社会に貢献してまいります。

●営業品目

微粉碎機、分級機、造粒機、乾燥機、焼成機、混合・混練・分散機、反応機、溶剤回収装置、二次電池材料製造装置、各種産業機械、試験機械、プラントおよびシステム設備、鍛造プレス、ベンディングロール、鍛圧機各種周辺装置、プラントエンジニアリング事業/各種プラントの設計、製作、調達、建設、試運転およびメンテナンス



素形材エンジニアリング事業部

破砕技術・材料技術を有する素形材エンジニアリング事業部の商品群は、骨材資源業界、鉄鋼業界、電力業界、セメント業界、鉄道運輸業界を網羅して各種産業分野で活躍しております。

●営業品目

破砕機、粉砕機、分級機、搬送機械、耐摩耗鋳物、耐熱鋳物、耐摩耗ポンプ、鉄道用ブレーキディスク、ブレーキライニング、(英) TEREXFINLAY商品

産業建設資材事業



建材事業部

幅広い製品ラインナップと迅速なデリバリーで皆様の期待にお応えしております。

●営業品目

スパイラルダクト、各種フレキシブルダクト、サイレントフレックス、各種消音製品、ステンレスダクト、スーパースパイラル、プレミアムスパイラルダクト、コルエアダクト(段ボール製ダクト)、ワインディングシース、ポリエチレンシース、ワインディングパイプ、梁貫通孔補強筋(スーパーハリー Z)、中空スラブ、各種耐震製品、ハーフプレキャスト製品(カイザースラブ・カイザーバルコニー)、PCシステム階段、消音・騒音対策事業(測定・設計・製作・施工・確認)、透光型吸音パネル(ビューゾーン)



化成部品事業部

FRPが持つ多機能で自由度の高い特性を活かし、真に信頼される製品づくりを目指して、広く社会基盤の整備に貢献してまいります。

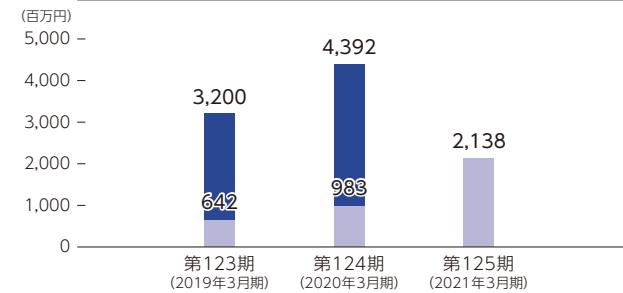
●営業品目

強化プラスチック複合管(FRPM管)、強化プラスチック管(FRP管)、強化プラスチック複合板(FRPM板)、FRPコア、FRP引抜成形品、各種合成樹脂成形品

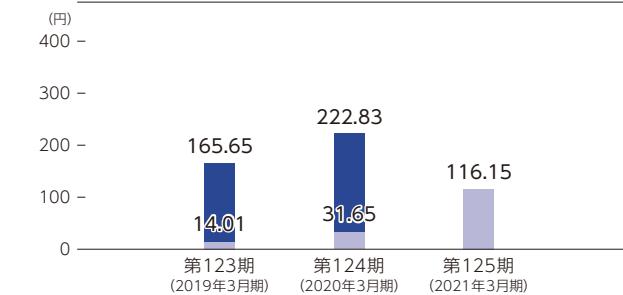
■ 売上高



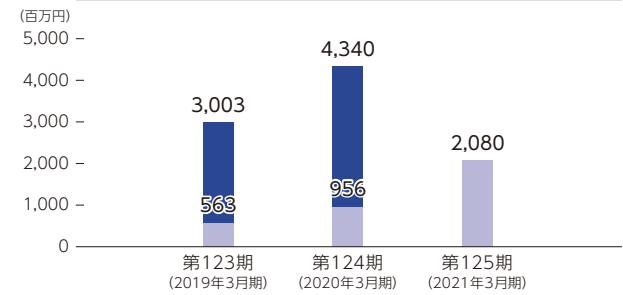
■ 経常利益



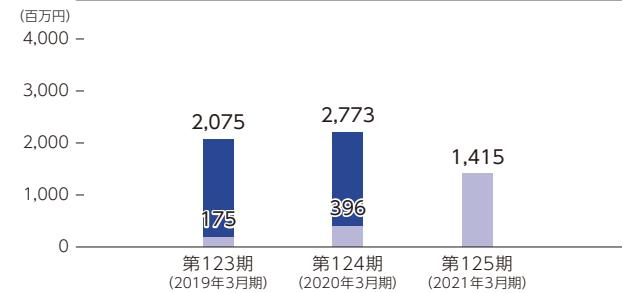
■ 1株当たり四半期(当期)純利益



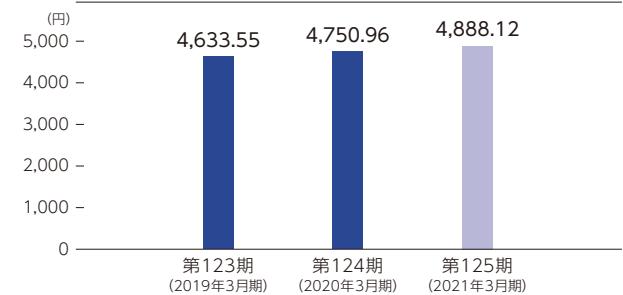
■ 営業利益



■ 親会社株主に帰属する四半期純利益



■ 1株当たり純資産額



■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末
	2020年9月30日現在	2020年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	79,950	84,669
固定資産	50,031	49,546
有形固定資産	32,868	32,867
無形固定資産	1,768	1,400
投資その他の資産	15,394	15,279
資産合計	129,981	134,216
(負債の部)		
流動負債	57,343	63,325
固定負債	11,980	12,013
負債合計	69,323	75,339
(純資産の部)		
株主資本	59,869	58,816
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,873	6,873
利益剰余金	23,636	22,587
自己株式	△ 1,826	△ 1,831
その他の包括利益累計額	△ 292	△ 923
その他有価証券評価差額金	1,252	771
為替換算調整勘定	△ 18	△ 4
退職給付に係る調整累計額	△ 1,526	△ 1,690
非支配株主持分	1,080	984
純資産合計	60,657	58,876
負債・純資産合計	129,981	134,216

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	2020年4月1日から 2020年9月30日まで	2019年4月1日から 2019年9月30日まで
売上高	54,838	49,785
売上原価	42,411	38,136
売上総利益	12,427	11,648
販売費及び一般管理費	10,347	10,691
営業利益	2,080	956
営業外収益	276	267
営業外費用	218	240
経常利益	2,138	983
特別利益	6	-
特別損失	2	300
税金等調整前四半期純利益	2,142	682
法人税、住民税及び事業税	480	218
法人税等調整額	133	80
法人税等合計	614	298
四半期純利益	1,527	384
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	112	△ 12
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,415	396

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	2020年4月1日から 2020年9月30日まで	2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,762	3,392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,363	△ 1,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,651	△ 4,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 18	△ 20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,270	△ 2,991
現金及び現金同等物の期首残高	20,330	21,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,060	18,516

■ 株式の状況 (2020年9月30日現在)

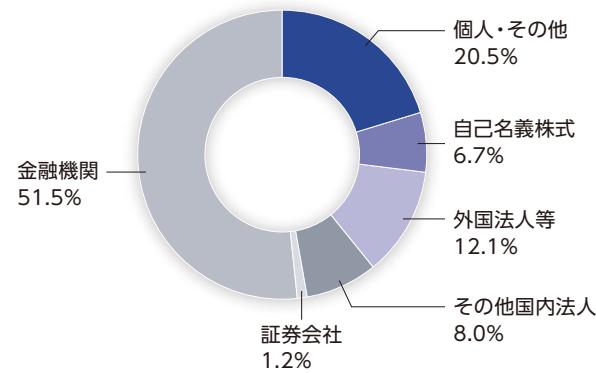
発行可能株式総数	39,376,600株
発行済株式の総数	13,098,490株
単元株式数	100株
株主数	6,707名

■ 大株主(上位10名) (2020年9月30日現在)

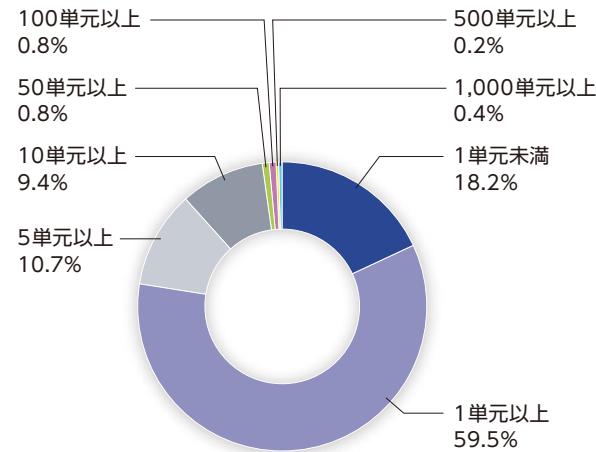
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
太陽生命保険株式会社	1,209	9.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,136	9.3
日本生命保険相互会社	678	5.5
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	634	5.1
株式会社りそな銀行	444	3.6
株式会社みずほ銀行	362	2.9
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	320	2.6
岩谷産業株式会社	289	2.3
株式会社三井住友銀行	272	2.2
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	234	1.9

※1 当社は自己株式(880,043株)を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。
 ※2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 ※3 自己株式には、株式給付信託(BBT)の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式30,262株は含んでおりません。
 ※4 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、資産管理サービス信託銀行株式会社、JTCホールディングス株式会社の3社は、2020年7月27日付で合併し、株式会社日本カストディ銀行となりました。

■ 所有者別株式分布状況 (2020年9月30日現在)



■ 所有株式数別株主分布状況 (2020年9月30日現在)



■ 会社の概要 (2020年9月30日現在)

社名	株式会社 栗本鐵工所
英文社名	Kurimoto, Ltd.
創立	1909年2月2日
設立	1934年5月10日
資本金	31,186,098,159円
従業員数	1,359名(単体) 2,153名(連結)

■ 役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役社長	串田 守可
取締役専務執行役員	岡田 博文
取締役常務執行役員	屋地 幹生
取締役上席執行役員	新宮 良明
取締役上席執行役員	菊本 一高
取締役上席執行役員	織田 晃敏
社外取締役	大槻 延廣
社外取締役	近藤 慶子
常勤監査役	村田 実
社外監査役	箱崎 一彦
社外監査役	有田 真紀
上席執行役員	近藤 一晴
上席執行役員	小島 眞也
上席執行役員	佐藤 尚人
執行役員	斎藤 直史
執行役員	福井 武久
執行役員	宮崎 隆行
執行役員	吉永 泰治
執行役員	上田 高生
執行役員	野口 安次
執行役員	浦地 好博
執行役員	丸谷 等
執行役員	廖 金孫

■ クリモトグループ

国内関係会社

- 栗本商事株式会社
- ヤマトガワ株式会社
- 北海道管材株式会社
- クリモトロジスティクス株式会社
- クリモトパイプエンジニアリング株式会社
- 株式会社本山製作所
- 株式会社ケイエステック
- 八洲化工機株式会社
- ジャパンキャストリング株式会社
- 日本カイザー株式会社
- 株式会社ゼンテック
- クリモトポリマー株式会社
- 株式会社クリモトビジネスアソシエイツ

海外関係会社

- 栗光股份有限公司
- 栗鉄(上海)貿易有限公司
- Readco Kurimoto, LLC
- Kurimoto USA, Inc.